



年 組 名前 \_\_\_\_\_

**道新** ワークシート

# 国後 竪穴住居跡100軒

## 学術訪問団発見 大半が続縄文文化期

**【根室】**国後島を24日から27日まで訪れていた北方四島歴史・文化学術交流訪問団（団長・右代啓視北海道博物館研究部長）は27日午後、根室市内で記者会見し、同島中部オホーツク海側のヤンベツ砂丘遺跡で続縄文文化期などの約100軒の竪穴住居跡を発見したと発表した。右代団長は「これまでの大集落は道内でもない規模。開発されていないため、奇跡的に良好な状態で残っていた」と話した。

訪問団は2006年から北方四島で調査を行っており、今回は6人が参加。調査2日目の25日、ヤンベツ砂丘遺跡で直径5~7メートルのくぼみが密集している



右代団長は会見で住居跡について「続縄文文化期の前半、（道東から）北方四島に積極的に（移住の）広がりを見せた際に拠点的な役割を果たした可能性がある」と説明。北海道博物館の鈴木琢也学芸主査は「戦前の調査でノーマークだった場所。今回われわれが初めて行き、多くの遺跡を見ることができた」と強調した。訪問団は26日、同島オホーツク海側南部のオタトミで17~18世紀のものとみられるアイヌ民族のチャシリ（とりで）跡も五つ発見した。根室市歴史と自然の資料館の猪熊樹人学芸員は「今回の発見は13年間にわたる調査の成果。四島側も日本の調査に注目している」と話した。

(今井裕紀)

2019年5月28日(火) 朝刊 全道遅版 社会28面 (記事は再編集しています)

①発見された竪穴住居跡の大部分は約何年前のものか答えなさい。

②住居跡はどのような役割を果たしていた可能性があるか答えなさい。

③北海道の「続縄文文化期」について、その期間や生活様式の特徴などを調べて見ましょう。  
※本記事以外に教科書なども参考にしましょう。